

## 1 目的

- オリンピックの開会式当日は、大会関係者や観客に加え、キャスト・ボランティアなど大量の人々が短期間に集中的に移動する。選手については、翌日から多くの競技が開始するため、選手に係る移動の負担を最小にするよう効率的な運行が求められている。
- 大会関係者車両や観客の安全・円滑な輸送の確保にあたっては、企業の物流・業務の動線や周辺住民の生活動線にも配慮し、都市活動への影響も最小限に抑える必要がある。そのため、現在、都および組織委員会は、式典時の輸送について関係機関と協議しているところである。
- そこで、交通管理者やIOC等とも連携し、大会本番の約1年前の今夏において、本番に向けた課題を検証するため、式典時のバス輸送に関わるテストを実施するとともに、開閉会式における交通負荷をバスの実走により再現し、その交通影響等も一体的に検証する。

## 2 実施日（予定）

2019年8月25日（日）

## 3 実施内容（案）

- バス20～30台の隊列での走行
- 走行区間は、
  - ・選手村（晴海）⇒新国立競技場周辺 など  
計画中

## 4 その他

- ・会場周辺における交通対策は、別紙で交通管理者等と調整中
- ・詳細な交通対策については、地元区等調整のうえ、周辺地域に事前に周知する予定
- ・住民等の安全の確保に配慮しながらテストを実施

# 開閉会式を想定した試行

## 8月25日（日）実施予定（今回の新国立競技場周辺交通規制の検討対象範囲案）

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報(S=1:5,000)を使用した。(承認番号 平30情使、第807号)

素案

